

平成26年度

第1/3回

(課題別研修)

母子栄養改善

実施要領

平成26年12月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景・目的	1
3. 案件目標	1
4. 単元目標	1
5. 研修内容	2
6. 研修成果品	2
7. 研修員参加資格要件	2
8. 研修実施体制	3
9. 研修の評価	3
10. 研修付帯プログラム	4
11. 主な宿泊場所	4
12. その他	4

付属資料

付表－1 研修員関連情報

付表－2 研修日程表

付表－3 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) コース名

和文：(課題別研修) 母子栄養改善

英文：Group and region-focused training on “Improvement of Maternal and Child Nutrition”

(2) 受入期間：平成 27 年 1 月 5 日(月)～平成 27 年 2 月 18 日(水)

(3) 技術研修期間：平成 27 年 1 月 8 日(木)～平成 27 年 2 月 17 日(火)

(4) 定員、割当国

定員：11 名

割当国：エチオピア、ザンビア、ラオス、イエメン、マラウイ、ジンバブエ、ガーナ、ウガンダ

(5) 類型：人材育成普及型

(6) 使用言語：英語

2. 案件の背景・目的

栄養改善は健康を通じた人間開発に欠かせない要素である。低栄養は心身の成長に影響を与えるだけでなく、乳幼児期の栄養介入は成人後の経済活動に効果をもつことが確認されている。JICA も支援している栄養分野の国際的行動枠組みである Scaling Up Nutrition (SUN) では妊娠期から生後 24 ヶ月未満の乳幼児期に対する栄養対策を重視している。また、JICA の保健分野のポジションペーパーでは母子保健を重点課題として挙げており、栄養改善は具体的な支援内容の一つである。

3. 案件目標

本コースでは、SUN 参加国の行政官を対象に、自国・担当地域にて母子栄養改善プログラムを計画、実施、管理するために必要な知識と能力を強化することを目指す。具体的には、SUN など国際的な栄養改善の動向や栄養学の知識、栄養改善に有効な方法・戦略の事例等を講義にて補強した上で、日本の母子保健・地域保健・栄養改善対策の取組み方について視察等を通して学び、所属部署における栄養改善のための取組みを推進する。

4. 単元目標

- (1) 国際栄養対策の潮流と枠組み及び栄養学の知識について学び、説明することができる。
- (2) 低栄養対策、栄養改善に有効な方法、戦略の事例を学び、自国での栄養改善対策に向けた行動計画に反映することができる。
- (3) 日本の母子保健、地域保健の経験から、栄養改善対策に資する政策・事業・取組み方を学び、地域保健の中でどのように栄養対策をすすめているか具体的な事例とともに説明できる。
- (4) 成果(1)～(3)を踏まえ、研修員が各国において母子栄養改善のための行動計画を策定し、それを実施する能力を形成する。

5. 研修内容

以下の研修を講義・演習・視察・討論等により実施する。

- (1) SUN、WFP、WHO、UNICEF などの国際的な栄養改善の取組み、JICA の母子保健・栄養分野への支援方針・栄養不良の概論（現状と課題、種類、判定方法、要因と対策）、妊産婦栄養（栄養摂取基準、貧血、栄養モニタリング等）、乳幼児栄養（栄養摂取基準、母乳育児、乳児食、栄養調査）、微量栄養素（微量栄養素・ビタミンA・亜鉛・カルシウム欠乏症、鉄欠乏性貧血とその対策）
- (2) 食品の保存法と加工法、家庭菜園、家庭内食糧安全保障のための女性のエンパワメント、途上国での地域保健・栄養改善の取組み、日本企業による途上国での取組み、日本が開発した栄養改善製品の紹介
- (3) 日本の栄養改善の歴史、母子保健事業（妊産婦の栄養・母乳・離乳食指導、乳児健診、乳児栄養指導など）、保健所の役割と地域保健事業、栄養改善事業、健康日本 21
- (4) 帰国後に研修員が実施する栄養改善に向けた行動計画の作成・意見交換会

6. 研修成果品

- (1) 本邦研修実施前

「初期報告書（Inception Report）」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題や、それに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

- (2) 本邦研修終了時

「最終報告書（Final Report）」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に単元目標（4）にかかる活動計画を作成し、コース終盤に発表する。

7. 研修員参加資格要件

- (1) 募集要項記載条件

- ア. 母子保健、地域保健、栄養改善に関わる中央政府及び地方自治体の行政官
- イ. 当該分野で5年以上の経験があること
- ウ. 当該分野における学位保持者
- エ. 対象年齢25歳から50歳まで

- (2) 各案件共通資格要件

- オ. 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること
- カ. TOEFL IBT 100点以上に相当する英語能力を有すること
- キ. 心身ともに健康なこと
- ク. 軍に属していないこと

8. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構北海道国際センター（帯広）が計画するコースの実施に関する業務（コースリーダーの配置を含む）を研修受託機関に業務委託し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中は、JICA 登録の研修監理員を配置する。具体的業務分担は次のとおり。

(1) 独立行政法人国際協力機構北海道国際センター（帯広）

- ア. 実施計画書作成（案件目的、案件目標、研修期間など）
- イ. 評価
- ウ. 実施予算の執行管理
- エ. 募集要項および実施要領等の作成等

(2) 研修受託機関

- ア. 日程表の調整・作成
- イ. 講師、視察先等への連絡・確認
- ウ. テキスト、資料の手配、作成、印刷製本等

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言等

(4) 研修監理員

- ア. 関係者間の連絡調整
- イ. 通訳・翻訳等

9. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

- ア. コースリーダー等による到達目標の達成度把握
- イ. 研修員が提出する質問票による評価
- ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づきコースリーダー、講師、研修受託機関、JICA 等が参加し、反省会を開催する。研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降の改善に向けて対応方針を検討する。

10. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に、北海道国際センター(帯広)で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

研修員の日本に対する理解を深めるために日本の文化・制度などの一般的な事情を紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として 6 時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程	内 容
1月6日(火)	ブリーフィング・コースブリーフィング 日本語研修(夜間)
1月7日(水)	ジェネラルオリエンテーション 日本語講習(夜間)
1月8日(木)	日本語講習(夜間)

11. 主な宿泊場所

東京国際センター(TIC)

所在地：〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-49-5

Tel (03) 3485-7051 Fax (03) 3485-7904

北海道国際センター(帯広)

所在地：〒080-2470 北海道帯広市西 20 条南 6 丁目 1 番地 2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

12. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

以上

研修詳細計画書

研修コース名 平成26年度(課題別)「母子栄養改善」

研修コース番号 J1404370

受入形態

課題別研修

研修期間 2015/1/5 ~ 2015/2/18

研修員数

11

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等		研修場所
				氏名	所属先及び職位	
1/5(月)			来日(イエメン以外10名)			
1/6(火)	9:30 ~ 12:00		簡易ブリーフィング			JICA帯広
	14:00 ~ 14:30		帯広市役所 副市長表敬訪問			帯広市役所
	16:00 ~ 17:30		貸出物対応・コースブリーフィング			JICA帯広
	18:00 ~ 19:30		日本語研修			
			来日(イエメン)			
1/7(水)	9:30 ~ 11:30		日本の政治・行政機構			JICA帯広
	13:00 ~ 15:00		日本の経済			
	15:15 ~ 17:15		日本の教育			
	18:00 ~ 19:30		日本語研修			
1/8(木)	9:00 ~ 12:00	講義	プログラムオリエンテーション ①SUN全体像と研修Tree component、② short term and long term consequences 栄養不良とライフサイクル、③母子栄養改善に関連する言葉の整理、④日本の母子保健システム(概要)等	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラムマネジャー	JICA帯広
	13:00 ~ 16:00		発表会準備			
	18:00 ~ 19:30		日本語研修			
1/9(金)	9:00 ~ 12:00	発表	インセプションレポート General Informationに提示されている Inception Reportの発表	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラムマネジャー	JICA帯広
	14:00 ~ 16:00	講義	母子栄養指導(母親学級・乳房管理)		帯広厚生病院	帯広厚生病院
	17:30 ~ 18:30		帰国フライトミーティング			JICA帯広
1/10(土)			休日			
1/11(日)			休日			
1/12(月)	9:00 ~ 12:30	講義	日本の公衆栄養改善のあゆみと特徴(学校給食を含む)	山本茂	十文字学園女子大学教授	JICA帯広
1/13(火)	9:40 ~ 10:20	講義	帯広市における母子保健の概要 <帯広市の保健事業>統計データの活用	金田	帯広市こども未来部 子育て支援課	帯広市保健福祉センター
	10:40 ~ 11:50	講義	帯広市における母子保健の概要 <帯広市の保健事業>おやこ健康係の業務 低体重児、未熟児へのサポート(訪問看護)	金田	帯広市こども未来部 子育て支援課	
	13:00 ~ 14:10	講義	<帯広市の保健事業>両親教室、母親教室の内容説明 (妊娠期・乳児期の保健指導)	藤本	帯広市こども未来部 子育て支援課	
	14:30 ~ 16:00	講義	<帯広市の保健事業>行政栄養業務(母子) 妊娠期の栄養指導	立花洋子	帯広市こども未来部 子育て支援課	
1/14(水)		講義	保健所の組織・役割と公衆衛生~栄養改善にむけて		帯広保健所	帯広保健所
		講義	保健所の組織・役割と公衆衛生~栄養改善にむけて		帯広保健所	
1/15(木)	9:30 ~ 12:00	講義	<帯広市の子育て支援事業>母子保健の栄養業務 ・日本における離乳食・すくすく教室教材(実習)	立花洋子	帯広市こども未来部 子育て支援課	帯広市保健福祉センター
	13:15 ~ 14:30	講義	<帯広市の子育て支援事業>(見学)5ヶ月児健診、BCG接種ボランティア	金田	帯広市こども未来部 子育て支援課	
	14:30 ~ 16:00	講義	質疑応答		帯広市こども未来部 子育て支援課	
1/16(金)	9:30 ~ 12:00	見学	保育所における給食の法的根拠、食品衛生管理、食育等 〔豊成保育所見学〕		帯広市こども未来部 子育て支援課	JICA帯広/ 市内保育所
	13:30 ~ 16:30	講義	生活改良普及員の役割、社会的位置付け	川原美穂恵	元生活改良普及員	JICA帯広

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等		研修場所
				氏名	所属先及び職位	
1/17(土)	9:30 ~ 12:00	実習	妊娠期の鉄分補給のための調理実習		帯広大谷短期大学名誉教授	帯広大谷短期大学
	13:00 ~ 16:30	講義	食品の管理		帯広大谷短期大学名誉教授	
1/18(日)			休日			
1/19(月)			帯広→東京移動			
1/20(火)	9:30 ~ 12:00	実習	①帯広プログラムの学びの総括—グループワーク ②東京セッションのオリエンテーション(単元目標の再確認)他	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	JICA東京
	13:00 ~ 16:30	講義	国際的な母子栄養改善の取り組みについて～SUN(Scaling Up Nutrition)を含む	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー	
1/21(水)	9:30 ~ 12:00	発表	各国からのレポート① 「各国政府による母子栄養改善に関連する政策」発表及び討議 Country analysis based on the SUN framework of action (Country specific goals/ strategic processes and targets/ progress)	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー	JICA東京
	13:00 ~ 17:00	講義	母子栄養状況の把握～疾病負担状況の分析の手法 (IHMEデータを活用して分析)と演習 / 公衆衛生的リスクレベル判定	力丸徹	JICA国際協力専門員	
1/22(木)	9:30 ~ 12:00	講義	モニタリングと評価について～母子栄養サーベイランス・サポーターズスーパービジョン等、現状分析の手法と課題	渡辺鋼市郎	特定非営利活動法人 栄養不良対策行動ネットワーク 代表理事	JICA東京
	13:00 ~ 16:30	講義				
1/23(金)	9:30 ~ 10:00		ブリーフィング(学びの確認)	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー	JICA東京
	10:00 ~ 12:00	講義	食育推進基本計画の役割と課題～オールジャパンでの取り組み	清野富久江	内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 付参事官(食育推進担当) 付参事官補佐	
	13:00 ~ 14:30	講義	栄養学の基礎知識(栄養不良の概論/妊産婦栄養/乳幼児栄養/微量栄養素等)	地引英理子	公益財団法人ジョイセフ アドボカシーグループ	
	14:30 ~ 16:30	講義	日本の政策(健康日本21)と栄養政策手順について	石川みどり	国立保健医療科学院 生涯健康研究部 上席主任研究官	
	16:30 ~ 17:00	実習	一週間のまとめ		ジョイセフチーム	
1/24(土)			休日			
1/25(日)			休日			
1/26(月)	9:30 ~ 10:00	発表	フィードバックセッション		ジョイセフチーム	JICA東京
	10:00 ~ 12:00	講義	リプロダクティブヘルスと妊産婦の継続的ケア 母子栄養と健康課題～栄養不良とライフサイクル	西田良子	公益財団法人ジョイセフ シニア・アドバイザー	
	13:00 ~ 16:30	発表	各国からのレポート② 「各国の母子栄養の現状(母子栄養疾病負荷の現状をIHMEデータを活用して分析)」発表及び討議	力丸徹	JICA国際協力専門員 (JICA栄養タスク)	
				鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	
				浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー	
1/27(火)	9:30 ~ 12:00	講義	母子の健康と環境: 環境汚染が健康に及ぼす悪影響(土壌、水、空気、食品汚染、農薬など母子の健康と栄養への影響)	渡辺知保 (調整中)	東京大学大学院医学系研究科人類生態学教授	JICA東京
	14:00 ~ 14:30	講義	国立健康栄養研究所紹介	三好美紀	独立行政法人 国立健康・栄養研究所国際産学連携センター国際栄養研究室 室長	国立健康・栄養研究所 管理棟3階会議室
	14:30 ~ 16:30	講義	妊産婦・乳幼児の「食事取得基準」の策定とその活用・普及にむけて	瀧本秀美	国立健康栄養研究所栄養疫学研究部部長・栄養教育研究部部長(併)	

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等		研修場所
				氏名	所属先及び職位	
1/28(水)	10:00 ~ 13:00	見学	小学校における食育プログラム〔学校給食の試食を含む〕		多摩市立豊ヶ丘小学校	多摩市立豊ヶ丘小学校
	13:30 ~ 16:30	見学	学校給食とそのシステムについて（給食センターにおける、食品安全法規に基づく給食調理や各学校までの配膳の流れ・試食を含む）		多摩市学校給食センター 南野調理所	多摩市学校給食センター 南野調理所
1/29(木)	9:30 ~ 12:00	講義	国民健康・栄養調査と基本的な実態把握とアセスメントの手法について ～母子栄養改善の事例	吉池信男	青森県立保健大学大学院健康科学研究科教授	JICA東京
	13:30 ~ 16:30	講義	食生活改善～高栄養価作物の生産について	志和地弘信	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科教授	
1/30(金)	9:30 ~ 12:00	講義	栄養改善教育教材の開発について 食育教材：各国の目で見える栄養バランス教材（基礎食品郡）	三橋裕行	一般社団法人 日本家族計画協会業務執行理事・事務局長	JICA東京
	13:00 ~ 16:00	講義	行動計画づくりに向けて 各国における母子栄養改善の課題の整理/ 「母子栄養改善の1000日間」（プロブレムツリーエクササイズ）	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	
	16:00 ~ 16:30	講義	5週目の学びの総括		ジョイセフチーム	
1/31(土)			休日			
2/1(日)			休日			
2/2(月)	9:30 ~ 12:30	講義	住民参加による保健活動（日本の事例検証）～コミュニティーレベルにおける母子栄養改善のためのステークホルダー分析	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	JICA東京
	13:30 ~ 16:30	講義	コミュニティーにおける食生活改善にむけた「食生活改善推進員」の役割と成果～推進員育成手法と持続可能性にむけて	上谷律子	一般財団法人日本食生活協会会長 全国食生活改善推進員協議会理事長	
2/3(火)	10:00 ~ 12:30	講義	JICA保健セクターの協力と支援方針 栄養改善プロジェクトの事例紹介（JICA栄養・保健・農業関連技プロ）		JICA	JICA本部
	13:30 ~ 16:00	実習	JICA各国担当との意見交換（討議）		JICA各国担当	
2/4(水)	10:00 ~ 12:00	講義	日本企業による途上国での取組み（BOP調査、官民連携/日本が開発した栄養改善製品の紹介）	取手恭彦	味の素株式会社 研究開発企画部 専任部長	味の素株式会社
	13:00 ~ 16:00	見学	Nutrition Improvement through "Social Business" by AJINOMOTO~KOKO PLUS and '1000 days' through multi sectoral approach in Ghana	取手恭彦	味の素株式会社 研究開発企画部 専任部長	
2/5(木)	9:30 ~ 12:30	講義	母子栄養改善と女性のエンパワーメント〔需要と供給における女性の役割〕	萩原明子	JICA国際協力専門員	JICA東京
	13:30 ~ 16:30	実習	行動計画づくりに向けて 各国における母子栄養改善の課題の整理/ 「母子栄養改善の1000日間」（プロブレムツリーエクササイズ）	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラムマネジャー	
2/6(金)	9:30 ~ 12:30	講義	葛飾赤十字産院における母子栄養指導の手法	平井香名	葛飾赤十字産院 助産師	葛飾赤十字産院
				中村早希	葛飾赤十字産院 助産師	
	13:30 ~ 14:30	講義		平井香名	葛飾赤十字産院 助産師	
				中村早希	葛飾赤十字産院 助産師	
15:30 ~ 16:30	実習	葛飾赤十字産院での学びのまとめ(グループワーク)	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラムマネジャー	JICA東京	
2/7(土)			休日			
2/8(日)			休日			

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等		研修場所
				氏名	所属先及び職位	
2/9(月)	9:30 ~ 12:00	発表	各国レポート③ 「各国における母子栄養改善に向けた取り組み(好事例)」の共有	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	JICA東京
	13:00 ~ 15:00	発表	Sharing of good practices: Nutrition specific interventions/ Nutrition-sensitive programs and approaches/ Building and enabling environment	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー	
	15:00 ~ 16:30	講義	好事例共有のまとめ・行動計画づくりに向けて	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	
2/10(火)	9:30 ~ 11:00	講義	母子栄養改善プログラムの実践(事例紹介)	西田良子	公益財団法人ジョイセフ シニア・アドバイザー	ジョイセフ
	11:00 ~ 12:00		～フィリピン・コア・プロジェクト～住民主導型リプロダクティブヘルス/栄養改善～サステナビリティにむけて	吉留桂	公益財団法人ジョイセフ技術 移転グループプログラム 専門家	
	13:00 ~ 14:00	講義	母子保健と健康教育活動(IEC/BCC)	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー	
	14:00 ~ 16:30	実習	活動計画を帰国後に実施・普及してゆくための“TIPS on ADVOCACY”	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	
2/11(水)			【建国記念日】 行動計画作成(各自作業)			
2/12(木)	9:30 ~ 10:30	講義	ガーナ国別栄養研修(2014年5月) Debriefing reportの紹介	萩原明子	JICA国際協力専門員	JICA東京
	10:30 ~ 12:00	実習	討議セッション(仮): Scaling up Nutritionの環境づくり(セクター間、 官民連携)にむけて	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	
				萩原明子	JICA国際協力専門員	
				浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー	
	13:00 ~ 16:30	実習	行動計画作成(個別相談)	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	
浅村里紗				公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー		
18:30 ~ 20:00			JICA net - ガーナと接続?			
2/13(金)	9:30 ~ 12:00	実習	研修全体の振り返り	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	JICA東京
	13:00 ~ 16:30	実習	行動計画作成(個別相談)	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	
				浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー	
2/14(土)			休日			
2/15(日)			休日			
2/16(月)	9:30 ~ 12:00	発表	ファイナルレポート(行動計画)発表会	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	JICA東京
	13:00 ~ 16:00	発表	ファイナルレポート(行動計画)発表会	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	
2/17(火)	9:00 ~ 10:30	発表	研修のまとめ(総括討論)	鈴木良一	公益財団法人ジョイセフ 常勤理事・事務局長	JICA東京
	10:30 ~ 11:30		評価会	浅村里紗	公益財団法人ジョイセフ 人材養成グループプログラム マネジャー	
	11:30 ~ 12:00		閉講式			
	12:00 ~		閉講パーティ			
2/18(水)			帰国			

年度別受入実績表

1. 応募／選考（受入）人数

	平成26年度	累計
応募数	15名	15名
受入数	11名	11名

2. 国別受入人数

○男性●女性

国名	平成26年度	累計
エチオピア	○	1名
ガーナ	○●	2名
ラオス	●●	2名
マラウイ	●	1名
ウガンダ	●	1名
イエメン	●	1名
ザンビア	●	1名
ジンバブエ	●●	2名
計	8カ国	8カ国
	11名	11名



独立行政法人国際協力機構 北海道国際センター(帯広)
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250
ホームページ : www.jica.go.jp/obihiro/
メール : jicaobic@jica.go.jp